

プロジェクト報告書

団体名 ドリーム カム ホーム

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

風呂給湯器 ・ ガスコンロ取り替え(同一給湯器)および冷蔵庫買い替え事業。

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

ドリーム カム ホームが使用している建物は築 30 年経ち修理箇所が出てきています。水漏れ、ガス器具の故障や雨漏りです。水漏れは何とか修理してもらいましたが支払いは待ってもらっています。風呂給湯器の不具合のために食器などは冷たい水で洗っています。また同じ風呂給湯器なので入浴にも不自由な生活を余儀なくされています。ガスコンロは1つしか火がつかないので調理に時間がかかりすぎます。温かい食事がとれない場合があります。冷蔵庫が1つのために児童が食べてしまい、献立の計画ができなくなることがしばしばあります。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

風呂給湯器とガスコンロの取り替えおよび冷蔵庫の変え替えをします。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

調理で使えるガスコンロは1口だったために調理時間がかかっていたために調理して頂いていた人が大変苦勞をされていました。ガスコンロを取り替えたためにコンロの使用できるのが2口になりました。そのためにどの料理も温かく食べられるようになりました。風呂給湯機を取り替えられたので温かい水で食器が洗えるようになりました。またお風呂もいつでも入れるようになったので大変感謝しています。ひとりは解体工事をしているので毎日入浴の必要があったのだが不自由をかけていました。今は毎日入浴ができるので喜んでます。私は冗談で水道光熱費が高くなったとぼやいています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし



居場所カフェについて話し合う健太さん(左)と健蔵さん
=長崎市、ドリームカムホーム



悩み聞く「居場所カフェ」

苦手、不安…深刻化する前に

経済的に困窮した家庭や養護施設で育った子どもを支援している民間団体「ドリームカムホーム」(長崎市曙町)が、広く子どもたちの悩みを聞く「居場所カフェ」の開設を計画している。引きこもりなど問題が深刻化する「一歩手前の関わり」を重視し、ケースによっては官民の専門機関につなぐケアの入り口の機能も想定している。

団体は、不登校児などに対応するフリースクールや、「貧困」など社会的事情で親と一緒に住むことができない子どもを支える自立援助ホームを運営。夢や目標を見いだせない児童生徒をケアする中で、問題が大きくなる前の「ささいな日常の悩み」に耳を傾ける重要性を感じてきた。

団体代表の川井健蔵さん(66)が、その解決の手段として出した結論は中学生以上を対象にした「居場所」づくりだった。今春、かつて支援をした生徒が自殺した

と知り、居場所カフェの開設計画を一気に本格化。「子どもは大人よりも年齢の近い大学生のほうが相談しやすいのでは」と考え、先月、市内で大学生向けの説明会も開いた。

川井さんの長男、健太さん(22)も二人三脚で計画を進める。福島大在学時、悩みを抱えた人や障害者の自立を支援するピアカウンセラーの活動を4年間取り組んだ経験を生かす考えで、「問題は山積みだが、子どもには夢や目標を持つてほしい」と意気込む。

子どもたちの生活実態をめぐって、2010年の国勢調査では、本県でひとり親家庭で18歳未満の子どもがいる世帯数は約1万7千あり、生活に困窮している層が全体の7割程度。

居場所カフェでは、こうした世帯を含め、幅広い子どもたち向けに対応を進める考えだ。恋愛、勉強が苦手、友人関係、将来への漠然とした不安…。はたからはささいに思える悩みで、気軽に立ち寄れる場所を目指し、開設場所は市内のまちなかななどを想定。室内にはドリンクバーや学習スペースも設け、大学生ボランティアらが相談相手になる。

ただ、団体側はスクールとホームを行政の補助金と企業の寄付金で運営する非営利の組織のため、今回の新規事業では資金が不足。場所の確保で苦戦している最中だ。問い合わせは、ドリームカムホーム(電095・861・3400)。(小山健太)

長崎の子ども支援団体

計画実現へ奮闘中